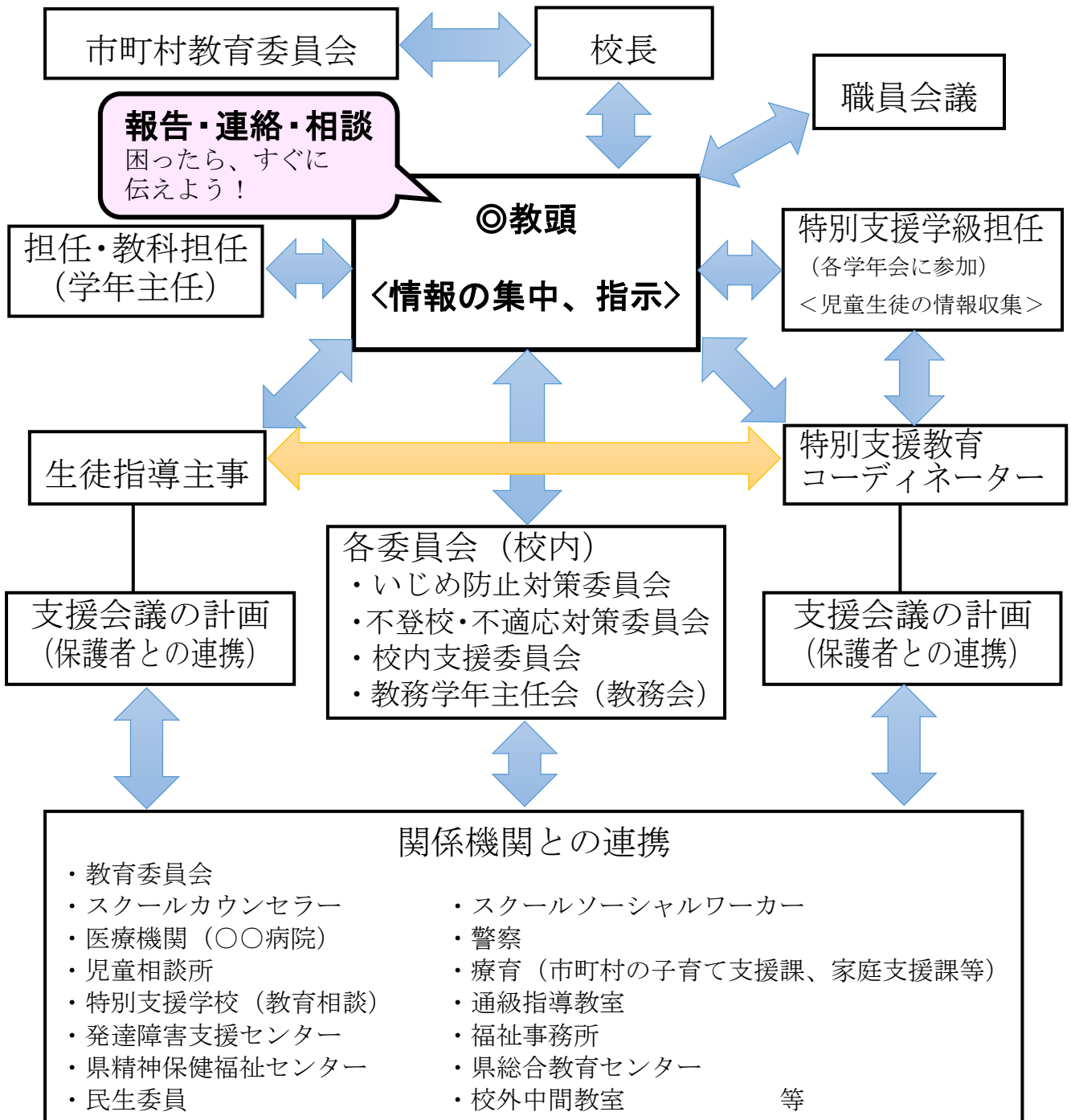


校内連携マップ【例1】 ～教頭を中心に～

学校で起きている子どもに関する課題は様々です。子どもたちが安心・安全に生活するためのポイントは、早期対応です。正しい情報をもとに、教職員がチームとして行動できるようにしたいと考えます。まずは、情報伝達の整理をしてみましょう。

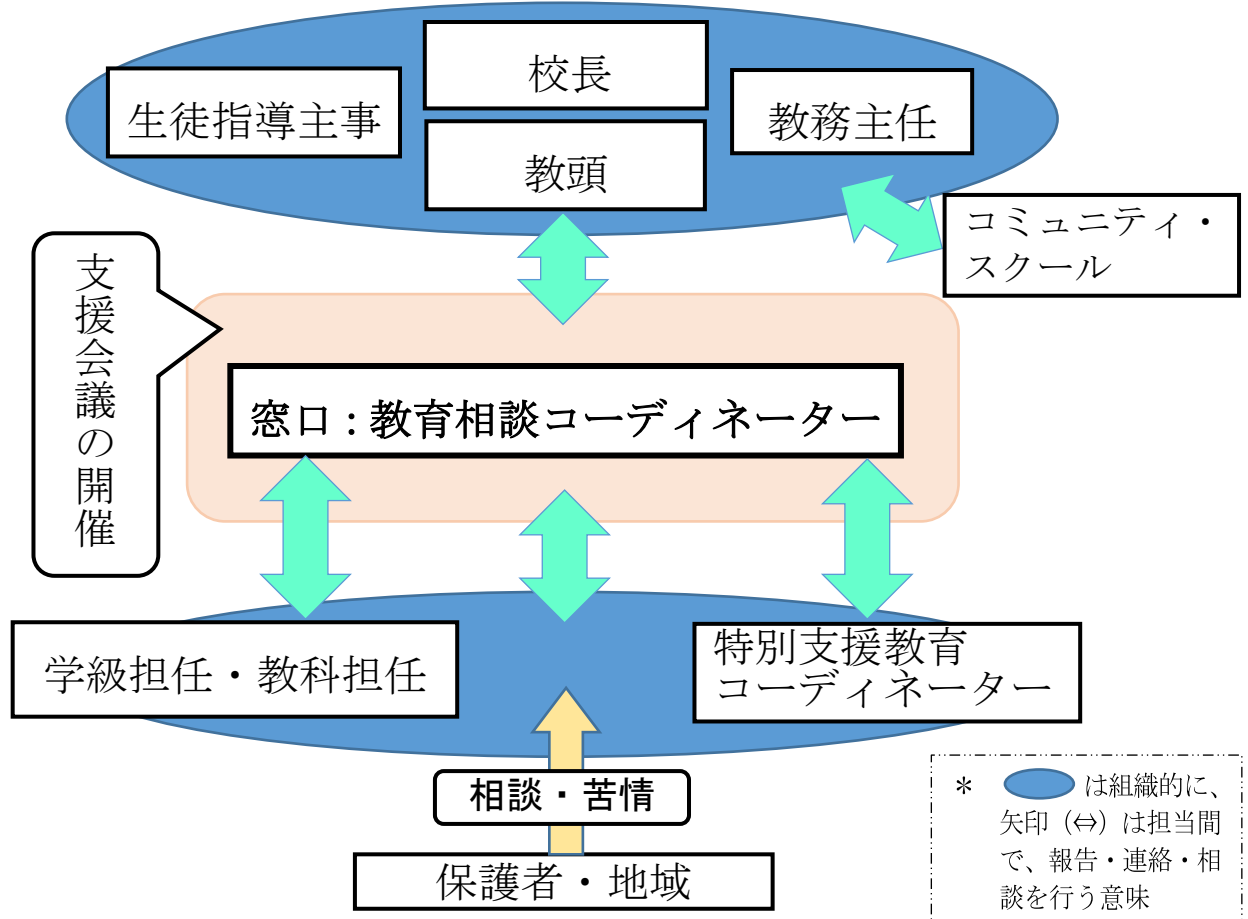
学校は、毎年教職員に変更があります。校務分掌をもとに変更・調整をしましょう。
※ 下図は、教頭が情報収集と指示の中心となる関係図になっています。

* 矢印 (⇔) は、報告・連絡・相談を相互に行う意味



校内連携マップ【例2】～教育相談コーディネーターを中心に～

学校で起きている子どもに関する課題は様々です。子どもたちが安心・安全に生活するためのポイントは、早期対応です。正しい情報をもとに、教職員がチームとして行動できるようにしたいと考えます。まずは、情報伝達の整理をしてみましょう。



関係機関との連携

- ・教育委員会
- ・スクールカウンセラー
- ・医療機関（〇〇病院）
- ・児童相談所
- ・特別支援学校（教育相談）
- ・発達障害支援センター
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・県精神保健福祉センター
- ・療育（市町村の子育て支援課、家庭支援課等）
- ・民生委員
- ・通級指導教室
- ・校外中間教室
- ・福祉事務所
- ・県総合教育センター
- ・警察 等

窓口：教育相談コーディネーターとは

学校において、組織的な連携・支援体制を推進していくための中心的な役割を行う。また、学校外の関係機関との連携や保護者への伝達等も行う。教育相談コーディネーターを中心とした体制を構築する必要がある。（平成29年 文科省初等中等教育通知 児童生徒の教育相談の充実についてより）

教育相談コーディネーターの役割

- ・いつも気軽に相談
- ・適切に外部につなぐ
- ・生徒を丁寧に把握
- ・生徒相談や保護者との相談の実施
- ・校長・教頭・教職員とのコミュニケーション